



オックスファム・ハンガーバンケット ツールキット



OXFAM

Japan

<目次>

オックスファムとハンガーバンケット.....	1
ハンガーバンケットを計画しよう.....	3
ステップ 1: <u>プログラム準備段階</u>	3
ステップ 2: <u>プログラム開催時</u>	6
ステップ 3: <u>プログラム終了後</u>	8
ハンガーバンケットのスケジュール 見本.....	10
ハンガーバンケットの台本 見本.....	11
ハンガーバンケットのプランニングガイド.....	21
オックスファムへの連絡先.....	23
アクションを起こす.....	23
リソース.....	23
参考資料・ホームページ.....	24
オックスファム・ハンガーバンケット報告用紙.....	25
登録用紙.....	26



Gilvan Barreto/Oxfam

オックスファムとハンガーバンケット

オックスファム・ハンガーバンケットの企画を考えている皆さまへ

オックスファムは世界 90 カ国以上で活動する国際協力団体です。私たちは、現地で貧困の中で生きる人々が、その貧困から抜け出そうとするためのサポートを行い、また、貧困自体を根本的になくすための政策提言やキャンペーン活動も行っています。

オックスファム・ジャパンは、2003 年 12 月に設立されました。日本の人々の寄付を世界各地で支援を最も必要とする人々に届けるとともに、貧困の事実について多くの市民に伝え、オックスファム・インターナショナルの国際的ネットワークを生かしながら、日本から地球規模の課題を解決していくことを使命として活動を行っています。

このツールキットには、オックスファム・ハンガーバンケットにおける一連の流れを把握できるガイドや、司会者用の台本、キャラクターカードなど、イベントを成功させるためのコンテンツが含まれています。

皆さまがハンガーバンケットを開催する際の助けになれば幸いです。

※皆さまが開催したハンガーバンケットの写真や参加された方のコメントなどがございましたら、巻末の報告用紙と合わせてオックスファム・ジャパンまでお送りください。お送りいただきました写真や文章は、オックスファム・ジャパンのウェブサイトやブログなどに掲載させていただく場合がございます。



オックスファム・ハンガーバンケットとは？

2014年現在、世界中の約9人に1人が慢性的な飢餓に悩まされています。その数は8億人とも言われています。貧困は世界経済の不正によって生み出され、とどまることなく人々の間に広がり続け、多くの人々を苦しめています。この傾向は止められないようにも思えますが、私たちひとり一人ができることは何か考えてみましょう。ハンガーバンケットを通じて、ひとり一人が何をすることができるのかを考え、変化に向けた行動のきっかけとしましょう。

ハンガーバンケットは、社会的不正を体験することができるイベントです。参加者はハンガーバンケットを通じて、個人の視点から飢餓や貧困、社会に関しての不正を知ることができます。

ハンガーバンケットでは、参加者は高所得層、中所得層、低所得層、それぞれの生活について記載されたキャラクターカードによるくじ引きを行います。(くじはキャラクターカードを使用しても、ご自身で作成しても構いません)。カードに従って、参加者は指定された所得グループに移動します。所得層の人数比は実際の人口統計データに基づいて作成されています。それぞれのグループは、所得層ごとに見合った食事を与えられます。例えば、全体の15%を占める高収入層にはあり余量の食べ物や飲み物が提供されますが、35%の中所得層には米と豆の簡素な食事が配られます。そして残りの50%の低所得層へは、ほんのわずかな米と水しか配られません。

参加者は食事後、食事を通じて感じたこと、飢餓や貧困についての考えを他の参加者と話し合い、共有します。この感想や考えを共有する時間を設けることで、自分の考えが整理され、飢餓や貧困に対する問題意識がより深まります。ハンガーバンケットにおいて参加者の問題意識をより深めるためには、主催者(または司会者)はハンガーバンケットで体験することが現実に行き起こることであると参加者が感じ、それらが許容できるものかどうか、考える環境をつくらなくてはなりません。

ハンガーバンケットでは、多くの参加者は満足する量の食事を得ることはできないでしょう。しかし、ハンガーバンケットによって、貧困下での食事を体験し、個々人が感じた思いを共有することは、参加者の問題意識を高め、より多くの人々が飢餓や貧困問題の解決に向けて行動する機会となるでしょう。



本キットは、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、及び、鈴木豪さんをはじめとしたオックスファム・ジャパン ユースプログラムにかかわる有志の協力を得てキットの作成・拡充を行いました。

ハンガーバンケットを計画しよう

オックスファム・ハンガーバンケットが成功するように、イベントの企画準備から当日の運営までの手順や注意事項などを説明します。イベントを行う際の参考にしてください。

ステップ1: プログラム準備段階

ハンガーバンケットの開催準備に必要な役割と活動を紹介します。

- 開催する際の協力者の募集/役割分担
 - 企画・運営・経理・広報で役割分担し、必要に応じて適宜役職を設ける

各役職の仕事内容と注意事項

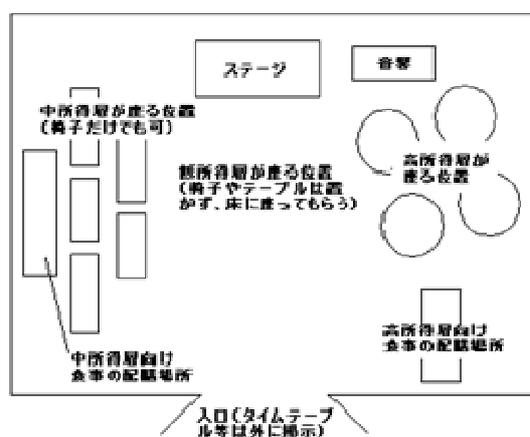
- ・ 企画係
 1. 参加者がより格差を体感できるようなプログラムの内容や構成を考える
 2. 対象となる参加者の経験や価値観、環境を考慮する
 3. 長時間床に座った状態だと集中力が持続しづらくなるため、ロールプレイをプログラムに組み込むなど座った状態が続きすぎないように工夫する
- ・ 運営係
 1. 会場として使用する施設の確保する
 2. 必要な物品を洗い出し、調達する
 3. 掲示物の作成する
 4. 参加者/招待客・当日ボランティアへの対応を行う
- ・ 経理係
 1. 食材購入経費、施設使用料、広報経費、音響にかかる経費、装飾にかかる雑貨などの費用が含まれた予算を作成する
(ゲストスピーカーによる講演を行う際には、謝金や交通費、飲み物の代金も見積もるようにする)
 2. 予算に基づいて資金調達(ファンドレイジング)を行う
(ファンドレイジングの計画作りに時間をかけすぎないようにする)
 3. 予算内で実施できるよう、支出を抑え、資金を管理する
- ・ 広報係
 1. イベントの告知(新聞・TV・ラジオ・ウェブページなどへの広報を含む)を行い、できる限り多くの参加者を集める

■ 会場の検討

- 学校など既存のコミュニティ内で開催する
 - ✓ 既存のコミュニティで開催することで参加者数を確定しやすく効果が得やすい
 - ✓ 学校で開催した場合、他学年に広がる場合が多いためハンガーバンケットをより多くの人に広めることができる可能性がある

■ プログラムの詳細決定

- 以下の例を参考にしながら食事体験で提供するメニューを決定する
 - ✓ 各グループに配膳する食事の種類や量に明確な差をつける
(料理の方が格差を見える化しやすいため、できれば料理にする)
 - ✓ 参加者が宗教上・アレルギーなどの理由で食べられないものなどを配慮して考える
(例) 高所得層(参加者の 15%): オードブル、メイン料理、サラダ、デザート、ジュースなど
 中所得層(参加者の 35%): 焼きそばなどを一皿、水
 低所得層(参加者の 50%): 限られた量の米、水
- 以下の図を参照して会場の配置を決定する
 - ✓ 間隔をあけて配置を行い、全参加者がお互いに見渡せるようにする



- ゲストスピーカーに講演の依頼をする(任意)
 - ✓ 飢餓や貧困に対して、ご自身の課題として理念を持って活動をしている方に依頼する
(データのみを提供する評論家タイプの方はゲストスピーカーには向いていない)
 - (例) 貧困問題に関して深い洞察を持つ、研究者や中学・高校教員、自治体職員、議員(町会、県会、国会議員)
 貧困解決のために活動している学生団体や NGO・NPO の代表やスタッフ
 国内外の飢餓や貧困問題の当事者の方

*オックスファム・ジャパンに講師派遣を依頼することも可能です。

■ 広報

- 知り合い同士での参加を呼びかける
 - ✓ 参加者は自分の知り合いが違うグループに入ることにより格差を実感しやすくなる
- 対象年齢を中学生以上に設定する
 - ✓ 内容によっては子どもに訴えかける方が伝わりやすい可能性がある

■ 開催に向けた準備

- 簡略化した台本を作成し、何を参加者に伝えたいのか明確にする
 - ✓ 小学校で開催する場合は内容(台本やキャラクターカードなど)も含め、適宜修正する
- 当日のスタッフ(ボランティアも含む)の役割分担を行う
(司会、ボランティア・リーダー、音響係など)
- プログラム進行の円滑化のために、リハーサルを入念に行う
 - ✓ できるだけ台本を見なくても説明できるようにする
 - ✓ スタッフ間での打ち合わせをしっかりとしておく

■ イベントのタイムライン(チェックリストとしてもご使用ください)

5~8週間前: □イベントの日程の決定(企画)、□イベント会場の予約(運営)、□司会者の決定(企画)、
 □食材や物品の寄付を募る(企画)、□招待状やちらし・ポスターを作成(広報)、
 □ゲストスピーカーのリスト作成と選定[任意](企画)

4週間前: □ゲストスピーカーとスポンサーへの招待状を送付(任意)(広報)、□広報計画の作成(広報)、
 □プレスリリースの準備(広報)、□ポスターの設置(広報)、
 □会場の座席配置を決定(企画)、□会場の展示物デコレーションの決定(企画)
 □講演依頼内容をまとめ、伝える[任意](企画)

3週間前: □計画に沿って広報を行う・参加受付の開始(広報)、□食事メニューを考える(運営・企画・経理)、□会場の展示物やデコレーションの準備(企画)、□参加者への参加確認を行う(広報)、
 □計画の進捗チェック(運営)、□台本の準備(企画)、□メディアへの宣伝(広報)

3日前: □キャラクターカード作成(企画)、□参加受付の締め切り(企画)、□食材の購入と寄付先からの回収・計画の最終確認(経理)、□各所得層ごとの座席確認(運営)、
 □参加者へリマインダーの発信(広報)

当日: □広報(広報)、□会場案内(広報)、□写真撮影/インタビュー[事前に許可をとる](広報)
 □会場にてテーブルや展示物の設置(企画)、□プログラムの貼り出し(運営)、
 □ボランティアの管理(運営)、□各所得層ごとの食事の準備(運営)、
 □参加者対応[カードの配布確認など](企画)、□ゲストスピーカー対応(企画)

ステップ 2: プログラム開催時

プログラム当日の運営についてご紹介します

- 以下は、イベント当日に必要な役割です。前に紹介した役割と兼任でも構いません。
 - 司会者: 責任のある役割です。司会者は参加者から注目される中で、イベントを成功に導かなければなりません。また、ハンガーバンケットで最も重要である感想を共有する際には、1人でも多くの参加者から意見や感想を引き出さなければなりません。ハンガーバンケットの趣旨を理解したうえで、一人ひとりが集中して話し合いをすることができるよう、環境づくりを行うことが重要です。このガイドに記載されている台本を使って司会を進行しても良いですし、自分の言葉で司会をしても構いません。ただ、台本を使用する際は、できる限り台本の内容を把握してからイベントに臨むようにしましょう。**ハンガーバンケットの主旨や目的を理解し、参加者が飢餓や貧困問題について深く考える環境をつくることが最も大切**です。司会進行の中で、スポンサーへ感謝の言葉を伝えるのも司会者の役割です。
 - ボランティア・リーダー: ボランティアとして参加する人々に役割を分担し、イベント前にボランティア全員に具体的な活動内容を説明し、ボランティアが効率よく活動できるように全体を統括する係です。ボランティアの役割としては、会場の設営や飾りつけ、場合によっては食事の準備を行うこともあります。また、参加者を出迎え、キャラクターカードを配布し、イベント終了後に登録用紙を回収します。なお、ボランティアの方には、当日のルールに従ってもらえるよう、事前に十分な情報提供を行うようにしましょう。ボランティアは仕事を行うだけでなく、場合によっては、ハンガーバンケットの参加者ともなります。
 - 音響係: ハンガーバンケットは、五感を使った体験から学ぶことを大切にしているイベントのため、音響係は参加者がイベントに集中できる環境をつくるために大切な係です。人が混み合っている場所でもちゃんと聞こえるような効果的な音響は、司会者が適切な環境をつくるうえでの大きな助けになります。

- イントロ(20分)
 - 受付でキャラクターカードの配布・グループ分けをする
 - ✓ ワークショップで十分な時間をとれるように、開催者はカードの配布とグループ分けを受付の際に行い、その状態でプログラムを始める
 - ✓ ロールプレイで使用するキャラクターカードは、確実に参加者の元に渡るように工夫する
 - 注意事項を共有する
 - ✓ 参加者がより貧困を体感できるように、開催者は参加者と注意事項を共有する(例)私語厳禁、携帯電話の電源 OFF、食事の写真撮影禁止、など
 - 世界の格差があるという現状について説明する
 - ✓ PPT や映像を使って参加者の視覚にも訴えかけることで不公正さがより伝わりやすくなるようにする
 - ✓ 司会は台本をただ音読するのではなく参加者に語りかけるようにする

- ハンガーバンケットの趣旨を共有する
 - ✓ 開催者はプログラムを通して参加者に何を感じて欲しいのかを明確にする
 - ✓ 開催者は参加者にどのようなことを考えて欲しいのかを明確にする
(例)貧困に対して自分に何ができるのかを考える、など
- オックスファムの考える貧困の定義を説明する
 - ✓ 開催者は貧困に対する定義は団体や個人によって多様な捉え方があること、そして、オックスファムの考える貧困の定義について参加者に伝える
(例)貧困は社会的排除である、貧困を解決するには構造を変える必要がある、など
- プログラムで「見える化」する格差(グループ分けの方法)の説明をする
 - ✓ 開催者は所得によってグループ分けしているという旨を参加者に伝える

■ ワークショップ(任意の項目を除いた場合 30 分)

- 低・中・高所得層の人々の暮らしを比較し、より格差を明確にする
 - ✓ 写真を使って比較できるとより格差が明確になる
- 所得層の入れ替えを行うなど、キャラクターカードに基づいて作られたロールプレイを入れることで、参加者がより格差を体感できるようにする
 - ✓ キャラクターカードを利用すると参加者がより格差を身近に感じることができる
→カードに合わせてロールプレイを作る
 - ✓ 立ったり、移動したりできるように、場所を工夫する
- 貧困レベルに応じた食事の体験をする(15 分)
 - ✓ 食中毒に対して細心の注意を払う
 - ✓ 参加者に空腹の状態に参加してもらい、より格差を実感しやすくさせる
 - ✓ 開催者は配膳した食事を比較し格差をよりはっきりと「見える化」する
(写真を提示できるとなお良い)
 - ✓ 開催者は食事の時間を十分にとるように注意する
 - ✓ 雰囲気作りをし、参加者がより格差を体感できる環境を用意する

※以下の任意の項目は、「どんなメッセージを伝えたいか?」というストーリーに合わせて開催者がプログラムのどこに組み込むか考えた上で取り入れる

- ビデオを放映する(気候変動)(任意)(10 分)
 - ✓ 開催者はビデオの内容と貧困とのつながりについて、参加者に説明する
- ゲストスピーカーによる講演を行う(任意)
 - ✓ 開催者は講演内容と貧困とのつながりについて、参加者に説明する

■ ディスカッション(質問用紙を活用する)(30 分)

- グループディスカッションを行う(20 分)
 - ✓ 各貧困層の人が混ざるようにグループ分けを行う
(グループ分けの仕方は、時間の余裕に合わせて調整可能)
 - ✓ テーブル・ルールを用意し、全員でディスカッション中のルールを共有する
 - ✓ 開催者は参加者が発言しやすい環境を作る

- ✓ 開催者はより質の高い話し合いになるように、以下の点に注目しながらディスカッションをリードする
 - ・ 参加者は食事等を通じて何を感じたのか
 - ・ 参加者は貧困に対して自分たちに何ができると思っているのか
- ✓ グループディスカッションで十分に時間をとれるように、開催者は時間配分に注意する
- ✓ 別紙で議論を活発にするための質問集をご用意しております

- 全体でのディスカッションを行う(10分)
 - ✓ グループディスカッションでの内容を全体で共有する
 - ✓ 開催者は、可能な限り開催のきっかけや食料問題に関する自分の思いを話す
 - ・ 貧困や貧困解決に対して自分はどのように考えているのか
 - ・ なぜ活動するようになったのか
 - ・ 貧困解決に向けて今後どのような活動をするつもりなのか
 - ・ 自分が貧困解決に向けて行っていることやこれから行いたいこと
(参加者の共感を得られるもの、参加者が参考にできるような内容にする)

- 3 things を実施する
 - ✓ 参加者一人ひとりに、これからの日常生活の中で食料問題の解決のために行うことを専用台紙に3つ書いてもらう。台紙を持った上で個々人及びグループで写真撮影を行う。
*撮影した写真はオックスファム・ジャパンのウェブサイトや facebook で紹介されることを伝えてください。
*3 things を実施する場合は 10 分ほど多く時間を設定してください。

- フィードバック
 - 参加者アンケートを実施する(5分)
 - ✓ 参加者が変化することができたか確認するためにアンケートを実施する
 - ✓ オックスファムの活動に興味を持っている参加者の個人情報収集し、プログラム終了後にオックスファムに提出する
*5分余るように設定しています。

ステップ3: プログラム終了後

- フォローアップ
 - プログラム終了 1 ヶ月後/定期的に参加者に対してフォローアップ(アンケートの実施、参加者がハンガーバンク開催する際のサポートなど)を行う(任意)

- 報告
 - オックスファム・ハンガーバンク報告用紙、当日の写真、及び、メールマガジン希望者のリストをオックスファム・ジャパンに提出する。
 - 3 things を実施した場合は、その写真をオックスファム・ジャパンに提出する。

■注意点

- ・ イベントの制限時間を設定し、終了時間内に終わるようにしてください(90分が目安です)。
- ・ 司会者は参加者の各グループの周りを適宜巡回しながら話すようにしてください。
- ・ 主催者側とボランティアとが助け合って、それぞれ自分の役割を果たしながら運営を行いましょう。
- ・ ハンガーバンケットが、食料や資源分配の不正さを実感できるイベントとして意味を持つことを理解しましょう。
- ・ 必要なボランティアの人数を把握し、事前にボランティアの募集を行いましょう。
- ・ 参加者を募集する際には、知人や同じグループの友人ばかりを呼びすぎないように心掛けましょう。参加者が顔見知りであると、緊張感や集中力が薄れる場合があります。

※ご不明な点があれば youth@oxfam.jp までご連絡ください。



Suzi O'Keefe/Oxfam

ハンガーバンケットのスケジュール 見本

16:30 - 18:00	(必要に応じて食事の準備を行う)
17:00 - 18:00	ボランティア集合、ボランティア・リーダーによる仕事説明と役割分担、会場の設営
18:00 - 18:15	会場オープン、参加者受付、カードの配布 (参加者にくじ引きのようにひいていただく)
18:15 - 18:30	参加者入場、カードの内容に従ったグループに着席
18:30 - 18:35	主催者挨拶、ゲストスピーカー及びスポンサーの紹介(任意) スポンサーへの謝辞、プログラム紹介
18:35 - 18:50	司会者によるハンガーバンケットの説明と趣旨理解(※重要)
18:50 - 19:20	ストーリー紹介、食事体験(BGM・映像を流し始める[任意])
19:20 - 19:40	(BGM・映像を流していた場合は止め、) 各所得グループでの参加者同士の意見や感想の共有時間(※重要)
19:40 - 19:50	全体での意見や感想の共有時間(※重要)
19:45 - 19:55	アンケートの収集や署名への呼びかけ、閉会挨拶
20:00	終了

ハンガーバンケットの台本 見本

この台本は対象年齢を中学生以上としているため、小学校で実施する際は、ワークショップの内容と共に台本の見直し・修正をして下さい。

(受付でキャラクターカードを配り、参加者をグループごとに座らせた状態で始める)

ハンガーバンケットへ、ようこそ。

ワークショップを始める前に参加者の皆さんに注意して頂きたいことを、何点かお知らせします。皆さんにより格差を体感していただくために、携帯電話の電源は切り、私語と写真撮影は禁止させていただきます。よりよいプログラムにするためにも、ご協力をお願いします。

皆さんはご存知ですか。

(参加者の9人に1人を立たせ)

現在世界では、9人に1人が空腹に耐えながら、厳しい生活を強いられています。つまり、今立っている皆さんは、厳しい状況に置かれているのです。

(間をおく)

ありがとうございます。立たれている方は座ってください。

十分な食事をとることができなくて苦しんでいる人々がいるのは、世界中で生産される食べ物が足りないからでしょうか？

(間をおく)

実は、そうではないのです。今、私たちの暮らす地球では、全ての人が十分に食べることができるだけの量の食べ物が、生産されています。

世界には、苦しんでいる人たちがたくさんいます。しかし、地球上に暮らす人々はみんな同じ権利を持つ人間なのです。違いは、どこに生まれ、どこに住んでいるのか、それだけなのです。好きなものを好きなだけ食べることができる場所に生まれる人もいれば、一方で、多くの人々が、十分な食べ物を食べることができず、厳しい環境で生まれています。このように世界には、普段はなかなか見えないことのない、格差が存在しているのです。

そこで、ハンガーバンケットでは、普段見ることができない格差、世界における食の不正を「見える化」し、参

加者の皆さんに体感していただきます。そして、ここでの体験をきっかけに、世界の貧困に対して自分に何ができるか、を考えていただければ幸いです。

貧困と聞くと、お金をもっていないことを想像する人が多いかと思います。しかし、オックスファムでは、貧困とは社会や個々人の人生の意思決定の場から排除・無視されること、つまり社会的排除を意味します。社会的に排除されていると、結果として、所得も低くなる傾向にあります。

貧困は人々が行動した結果、あるいは、行動しなかったことにより生まれていると考えています。貧困は人為的につくられたものであるからこそ、その解決には一人ひとりの行動と参加が必要です。

さて今回は、皆さんには、それぞれの【収入】によってグループに分かれ、食事をしていただきます。それによって世界の食の不正を「見える化」します。それぞれのグループでは、食べることのできる量・中身が変わります。この後皆さんに、どういった基準でグループ分けを行ったかを説明します。ただ、この方法は、経済的数値から行ったものであり、単純化しすぎている点があることをご了承ください。

注意してほしいことがあります。

ここでは、【お金持ちの国】【貧しい国】など住んでいる国に関係なく、世界中で暮らす人々を収入によって3つのグループに分けました。なぜなら、貧困は、サハラ以南アフリカや南アジアなどの途上国といった、地域的に限定されたものではないからです。

お金持ちの国の中にも、収入の高い人と低い人がいます。日本は世界でもトップクラスの裕福な国であり、皆さんは豊かな生活を送られていると思います。しかし裕福な国であっても、実は総人口のおよそ15%の人が貧困に直面しているといわれております。貧困とは、社会的不正に基づき生まれているのです。

つまり、不平等は世界中どこにでも存在しているということです。

では、今の世界をこの部屋の中で例えてみたいと思います。どうなるのでしょうか。少しのぞいてみることにしましょう。

(部屋全体を示すため手を大きく広げる)

皆さんの周りを見て下さい。皆さんのうち多くの人々がテーブル(要会場確認)のない場所に座っています。これは、世界の8割の人々が地球上の土地や食べ物を分け合うことができていないことを表しています。皆さんがいる場所は皆さんが自分で選んだものでもなく、勝手に決められて、そこに座っていると思います。これは、私たちが生まれる場所を選べないのと同じです。

(高所得層グループに近づく)

このグループの皆さんは、世界人口の15%しかいない、1年間の収入が【120万円】を超える人々です。ここにいる皆さんは、毎日栄養たっぷりの食事をとることができます。

皆さんは、生活に必要なものが十分に揃っていて、安全に暮らすことができる家に住んでいるでしょう。また、風邪をひいた時にはすぐに病院に行って、治療を受けることができます。子どもたちは、みんなが学校に行くことができます。皆さんと、その家族は安全で、生活に困ることのない暮らしを送っています。

(中所得層のグループに近づく)

このグループの皆さんは、世界人口の 35%にあたる、一年間の収入が【10～120 万円】の範囲にある人々です。どれほどのモノ・情報を手に入れられるかや、安全に暮らすことができるかは、人によってバラバラです。

多分、皆さんは土地を持っていないでしょうし、毎日その日を暮らすためのお金を貰う、不安定な仕事をしているでしょう。重い病気にかかって、寝たきりになってしまうこともあります。苦しい生活から抜け出すために、皆さんは家族を町に残して、遠くの街まで働きに出かけなければならないこともあります。

(低所得層に近づく)

この場所にいらっしゃる皆さんは、世界人口の 50%、つまり半分も占める方々です。皆さんは 1 年間で収入が【10 万円以下】の人々です。1 日に使えるお金は、270 円より少ないですが、これよりもっと収入が低い人ばかりです。

皆さんにとっては、毎日が生きることとの戦いです。安全な場所を探すだけで、1 日が終わってしまいます。毎日、とても疲れる仕事をしているのに、栄養をあまり摂取することができません。皆さんのほとんどは、家はあっても大雨や強風を防ぐことができませんし、ゴミ処理場のすぐ近くなど、危険な環境での生活を強いられています。

貧しさと戦うために、学校はとても大切なものであるにもかかわらず、お金を払うことができず、学校に通うことができない子どもたちがたくさんいます。特に、女の子は他の兄弟の世話など家の手伝いをしなければならず、学校に通うことができません。

病気になっても病院に行くことができません。行くことができても、十分な治療を受けることができません。ほとんどの人が 40 代で命を落としてしまう国もあります。もし、あなたが数人の子どもを持つ親だったら、自分の子どものうち 1 人か 2 人は 5 歳の誕生日をお祝いすることができずに命を落としてしまいます。仕事があったとしても、食べ物を買うことができるほどのお金をもらうことができません。

生まれる場所を選べないのに、それで学校や病院にいけないなんておかしいですよ。

ここで皆さまへお知らせがあります。

先ほどもお伝えした通り、人は誰も生まれる場所を選べません。生まれたときに置かれていた境遇から這い上がる事ができた人も中にはいますが、大半の人々の生活状況はコントロールの効かない要因によって左右されてしまいます。

(時間によっては、ケース 1 または 2 から 1 つ選ぶ)

【ケース 1 気候変動】

近年、気候変動の影響で世界的に異常気象が発生しています。住んでいる国や所得に関係なく、多くの人が影響を受けていますが、その被害後の復興には、違いが生じています。

キャラクターカードを用いて、いくつかの事例から見ていきましょう。

(高所得層のところへ行き、ユタカのカードを持っている人に立ってもらう)

ユタカさん、あなたのキャラクターカードに書いてあることを読み上げてもらえますか？

「私は日本で農家をしています。気候変動の影響で大型台風が数多く来襲し、農作物は壊滅的な打撃を受け、収入は激減しました。丹精込めて育てた農作物が失われるのはつらいです。しかし、国の農業災害補償制度を利用し、最低限度の補償を受け取ることができました。」

ありがとうございます。

ユタカさん、あなたは政府の補償制度によって、損失分のうちいくらかの補償を受けることができました。高所得層に留まってください。(座ってもらってください。)

*参考 農林水産省農業災害補償制度 http://www.maff.go.jp/j/keiei/hoken/saigai_hosyo

(中所得者層のところへ行き、ザカリアスのカードを持っている人に立ってもらう)

ザカリアスさん、あなたのキャラクターカードに書いてあることを読み上げてもらえますか？

「私はフィリピンで農業を営んでいます。主にココナッツを育てて生計を立てています。フィリピンでは、コメやサトウキビと並んでココナッツは主要な農作物の一つです。私には3歳の息子がいます。裕福とは言えないまでも、家族と共に生活する時間を大切にしています。」

ありがとうございます。

ザカリアスさん、あなたは大型台風の襲来によって、ココナッツヤシが大打撃を受け、その多くがなぎ倒されてしまいました。ヤシの成長には6-8年が必要であり、それまでの生計をどう立てればいいのか、家族で途方に暮れています。

中所得から低所得へ移動をお願いします

(低所得層に案内し、座ってもらう。)

(低所得層のところへ行き、ママタズのカードを持っている人に立ってもらう)

ママタズさん、あなたのキャラクターカードに書いてあることを読み上げてもらえますか？

「私はバングラデシュに住んでいます。夫は漁師でしたが、気候変動による悪天候により漁の最中に命を落としてしまいました。それにより一家の収入は減少してしまいました。現在は息子が漁を引き継ぐことで家族を養っ

ていますが、悪天候は続いており息子の帰りが気がかりです。」

ありがとうございました。(読み終わったら座ってもらう。)

(任意で映像を流す <http://youtu.be/M2NBM7ShDxo>)

日本に生きる私たちも、決して気候変動の影響から免れることはできません。たとえば、記録的な大雪や台風では、国内の農林水産業への損失額は、1000 億円を超えることもあります。日本の農業や漁業が異常気象などの自然災害に襲われるリスクはもちろん、食料の 60%を輸入に頼る日本では、食料価格が世界の食料生産・供給の動向に左右されることもあります。

一方で、日本のような先進国と途上国における違いもあります。途上国では、農業や漁業など、生活基盤を自然資源に依存する人々が多く、加えて、様々な社会インフラが脆弱です。また、貧しいほど、食費が家計支出に占める割合(エンゲル係数)が高い傾向にあり、貯蓄する余裕がない傾向があります。

つまり、気候変動で被害を受けた際にも立ち直る助けとなる、貯蓄や政府の補償などが、途上国の人たちにはないのです。だから、気候変動の影響や、食料生産への被害に伴って高騰する食料価格の影響は、彼らにとってより直接的で深刻だと言えます。

そして、もう一度、この点を繰り返したいと思います。

人間は生まれる場所を選ぶことができないのです。

【ケース 2 食料へのニーズ】

21 世紀に入り、世界人口は 70 億人を超えました。

今後も、さらにその数は増え、世界的に食料需要が増えると予想されています。

キャラクターカードを用いて、いくつかの事例から見ていきましょう。

(高所得層ところへ行き、呼びかけてください)

こちらの多くのおみなさんは、毎日十分に余りある食料を得ることができています。

ただ時として、高所得層の人々の、子や孫に対する将来的な食料生産に対する需要が、途上地域の貧しい人々から土地を奪い、貧困を悪化させている場合があります。

(任意で映像を流す土地収奪のアニメーション <http://youtu.be/5GL54O0QthE>)

ここ 10 年間で売買されたこのような土地の面積は、日本の国土の 6 倍にも上ります。

また、その土地売買の多くが、「事前の協議」も「事後の補償」もない土地収奪といわれるものです。

外国によって取引された農地の 3 分の 2 は、深刻な飢餓問題を抱える国で行われており、その一方で、こうした取引の 60%の農地の生産物が輸出目的で、その国の人々の食料環境向上に寄与していないと言われています。

実際にどういった影響がでているのかを見ていきましょう。

(低所得層のところに行き、ビセンテのカードを持っている人に立ってもらう)

ビセンテさん、あなたのキャラクターカードに書いてあることを読み上げてもらえますか？

「私はモザンビークのナンプーラ州に住んでいます。先祖代々使っていた土地が外国企業に買収され、本来なら休ませるべき農地にも作物を植えなければならなくなり、収穫は減りました。以前は、1日3回食べることができていましたが、今は、1日1回しか食べることができません。売れるものもなく、子どもたちを学校に行かすこともできません。」

ありがとうございました。(読み終わったら座ってもらう。)

これは名前は変えていますが、実際にオックスファムの現地調査に答えてくれた方の発言をそのままカードに記載しています。

次に、ジョアンナさん、立ってください。

(低所得層のところに行き、ジョアンナのカードを持っている人に立ってもらう)

ジョアンナさん、あなたのキャラクターカードに書いてあることを読み上げてもらえますか？

「私はガーナに住んでいます。農場で働いていましたが、外国企業の土地取引の影響で仕事を失い、収入がなくなりました。土地取引について事前の説明も事後の補償もなかったため、抗議をしたところ地元の警察に逮捕されてしまいました。」

ありがとうございました。

しかし、あなたは、行動をすることでその状況を変えることに成功しました。

ジョアンナさんは、オックスファムのトレーニングを受け、土地の所有権に関する運動を起こしました。そして、公場で彼女は土地の所有権を勝ち取ることができました。

また、ジョアンナさんは、同じような状況にある人々を支援し、土地の所有権を得るための運動を広げました。

そして、彼らの所有権も勝ち取ることができました。(座ってもらう。)

(必要に応じて映像を見せる: http://youtu.be/JphJzUOL_Gc)

私たちが生きる世界には貧困をはじめ多くの課題があります。

しかし、一人ひとりの人間はそうした課題を乗り越える力をもっています。

そして、オックスファムは、人々がともに行動することで問題は解決できると信じています。

(間をおく)

今から皆さんには、食事をさせていただきます。【高所得層】の皆さんには、いつも食べているような、しかし他のグループと比べるととても豪華な食事をさせていただきます。【中所得層】の皆さんには、なんとかお腹が空かないだけの量を、【低所得層】の皆さんには、床に座って自分自身で、自分たちの食べる量を分けてもらいます。
※食事の内容によって変更が必要

低所得のグループでは、女の子は、男の子が食べた後に食事をとって下さい。【中所得層】の方は男の子より後ろの列に並び、食べ物もらうようにして下さい。これが、世界のあちこちで今起きていることなのです。

それでは、世界の食卓へご招待します。食事を始めましょう。

(食事体験スタート。使用する場合は食事終了後に音響・映像類を全て消す。)



Andy Hall

<食事が終わってから>

皆さん、世界の食卓を体験してみていかがでしたか？

色々と感じられたのではないかと思います。このあと、皆さんの感じたこと・考えたことを共有しあいたいと思うので、今の気持ちを覚えておいてください。

その共有の時間の前に、もう1つ皆さんにお伝えしたいことがあります。

お金があるからといって幸せであるとは限りません。世界には自分の生き方に対して決定権を持たない人がいます。また、年間120万円以上の収入がある人でも、生活している国や状況によっては、厳しい生活を強いられ、貧困層と分類されている人も多くいます。

このような不公正が存在することはおかしいと思いませんか。

【ケース3 先進国の貧困】(※時間によって扱うキャラクターカードの枚数を考える)

オックスファムでは、貧困とは社会的排除と、考えています。

サハラ以南や南アジアなどでなくとも、東京やニューヨークであったとしても、自分の人生における進路決定や社会の意思決定に声を聞いてもらうことが出来なければ、それは貧困だと考えています。

冒頭でも説明しましたが、ハンガーバンケットは、機械的に所得によってグループを分けています。

高所得層は年収120万円以上という設定ですが、日本においては年収120万円で生活することは難しく、貧困層に分類されています。

このため、ハンガーバンケットの日本版を作成するにあたって、先進国における貧困の事例を通じて、貧困とは何か?をみなさんに考えていただきたいと思い、いくつかの高所得層に属するカードを作成しました。

今から呼ばれるカードをお持ちの方は、カードに記載してある内容を読んでください。

(高所得層のところいき、カナのカードを持っている人に立ってもらおう。)

カナさんお願いします。

「私は女子高の3年生です。私の家は日本の中でも裕福な家庭ですが、父の発言が強く何をするにも父の同意が必要です。私は東京の大学に行き、将来的にはファッションにかかわる仕事をしたいのですが、父が反対していて地元の女子大以外の進学が難しい状況です。自分の人生にもかかわらず、自分で選択できないことにストレスを感じています。」

ありがとうございます。次にユイナさんお願いします。

「私は日本に住んでいます。大学在学中に付き合っていた男性との結婚を両親に認められず、家を出て大阪で生活をしています。その人との間に娘が生まれましたが数年後に離婚をしました。地元には託児所が少なく、

仕事と育児を両立することは非常に困難です。」

ありがとうございます。

次に、リクトさんお願いします。

「私は日本のイベント運営会社で働いています。高校卒業後に大学への進学を希望していたのですが、入学金などの支払いが難しいことと、家族を支えたかったために就職という進路を選択しました。夏休みなどに帰省する大学に通う友達に会うと、学生生活がうらやましく感じます。」

ありがとうございます。最後にサキさん、お願いします。

「私は日本の東京に住んでいます。大学を卒業したのですが、希望していた企業の総合職に就職することができず、派遣の仕事を続けてなんとか生計を立てています。宿舎付きの派遣で働いていたのですが、先日、雇用延長はないと言われ、宿舎からも出ていかなければならなくなりました。貯蓄も少なく、敷金や礼金などの転居の初期費用を支払うことは難しかったので、ネットカフェで生活を続けています。」

オックスファムでは、貧困を社会的排除と考え、それが先進国であっても、途上国であっても、解決すべき社会問題だと認識しています。

そして、問題の克服のためには、先進国、途上国を超えて、多くの人々の参加と行動が重要だと考えています。

私たちは、人々が持つ世界を変える力を信じています。

このハンガーバンケットでは、貧困とは何かを考え、食の格差を感じとり、貧困を終わらせたいと願う人々をつなぐことで、ムーブメントを各地からつくっていくことを目指しています。

「それでは、(目を閉じて[任意])今日の経験を振り返ってみましょう。」

(間をおいて)

「皆さまが今日感じたことを思い出してください。」

(感想の共有: 司会者は参加者の間を歩き、自分自身がいたグループについてどのように感じたかを問いかける。以下のディスカッションの質問例を参考にしてください。)

■ディスカッションの質問例

<全世代共通>

・今回の食事から何か感じたことはありますか？

<10-30代の参加者向け>

・このように世界の人々の状況が異なることは公平なことだと思いますか？またその理由は？

・たくさんの量の食事をされた方々は十分に食事ができない他の方々を助けるべきと思いましたか？またその理由は？

・低所得層の方々は一生懸命働かなかったのでこの所得層にいるのかと思いますか？また、なぜ低所得層の方々がその場所にいると思いますか？

<40代以上の参加者向け>

・どなたか日本で貧困を目の当たりにされた方はいないでしょうか、また、その時に見たこと、感じたことを共有していただけますか？

・私たちは、先進国に住む人として、どのような選択を行えば、世界の資源分配の不正を変えられるか、どなたか良い考えはございませんか？

・公平な資源分配が行われるためには、ここにいる私たちは何をすべきでしょうか？

※もし、参加者がイベント内での食料配分等の方法のみに興味を向けているようであれば、これは、シミュレーションであることを再認識してもらいましょう。参加者に現実世界を現すものは何であるかを話し合ってもらいほかに、世界をよりよい方向に変えるには何をすればよいかを問いかけてみましょう。

※ハンガーバンクでは、先進国における貧困にも着目するように工夫がなされています。身の回りの貧困や不正について、話し合いをするように促すこともよいでしょう。

ハンガーバンケットのプランニングガイド

<注意点>

■90分以内で終了できるプログラムにしましょう。

長時間床に座った状態だと集中力が持続しづらくなります。参加者がイベントの途中で退出してしまうという事態を減らすために、参加者には、開始時にプログラム内容と終了時間を説明するようにしてください。(トイレなども事前にすませていただくよう促すことも重要です。)

■司会者の役割がイベント成功の鍵になります。

責任感がある人(台本の内容に精通し、ハンガーバンケットで期待される成果をきちんと把握している方)に司会をお願いしましょう。司会者はイベントにおいて重要なシーン全てを進行するほか、**参加者が発言しやすい環境をつくります。**

■雰囲気づくりのためにBGM・映像を流しましょう(任意)。

DVDプレーヤーやプロジェクター、音響機器など事前に全て作動するかを試し、機器を使い慣れた方に当日の操作をお願いしましょう。AV機器操作の方にはそれぞれの機器ごとに、操作する箇所、操作を行うタイミングや所要時間など、しっかりと打ち合わせをしましょう。

■キャラクターカードについて確認しましょう。

印刷して切り取り、所得層ごとに適切な枚数配分になるように作りましょう(例:高所得層 15枚・中所得層 35枚・低所得層 50枚)。最低でも2つ以上の箱やバスケット、袋にチケットを分けて入れましょう。

■イベントでは(参加人数の規模にもよりますが)2~8人のボランティアを募集しましょう。

準備のため、イベント開始60~90分前には集合してもらうようにします。ボランティアの役割を記載したリストも作成しましょう。イベントの中で何が起こるか、このイベントの目標は何か、どういう役割を果たしてもらうか、などを伝えましょう。それぞれの仕事について、その意義やタイミング等に関して具体的に伝えましょう(例えば、食事の配膳役には司会者が「これから皆さんを世界の食卓へご招待します」など言ったときに配膳し始めるなど)。

■食中毒には、十分注意しましょう。

イベントの開催時期(特に夏場など高温多湿な時期)や、調理・衛生面に関しては細心の注意を払いましょう。飲食物を多数の人々に提供する際には、保健所への申請が必要となりますので確認してください。料理を用いることが難しい場合は、お菓子などを使って開催することもできます。

■ゲストスピーカーと念入りに打ち合わせ・確認を行いましょう(任意)。

このイベントに関する情報、イベント中の役割、出演するタイミング・所要時間・場所などの情報を把握しておいてもらいます。

<ボランティアのチェックリストサンプル>

- AV機器の操作係:1人
- キャラクターカードのくじ引きを持つ係(部屋の入り口に立つ人):2~4人
- 参加者を所得層ごとの席へ案内するなど、参加者対応をする係:2~4人
- ゲストスピーカーの対応をする係*:1人

*ゲストスピーカーについての情報を把握しているか、食事中には何をしてもらうかを把握しているか確認を行う(任意)。

※以下の役割もボランティアに行ってもらいましょう(上記の役割と兼任可能)。

- 高所得層のウエイトレス・ウェイター役が2人程必要です。
必要であれば、イベントが始まる前に食事の盛り付けも行います。盛り付け作業は、参加者から見えない場所で、三角巾や帽子、エプロンなどを着用し、衛生面に十分配慮して行ってください。料理は、暖かいうちに運ばないといけません。この役割は、イベントのプログラムによって作業する場所やタイミングなどが変わります。
- 中所得層の35人分の食事をテーブルに運ぶ役が1~2人必要です。
- 低所得層の50人分の食事を運ぶ役が1~2人程必要です。参加者には自分たちで食べ物の分け方を考えてもらいます。
- 資料や登録用紙、ペンなどを配布する役が1~2人必要です。部屋の隅に分散して待機していて、退室する参加者の方々へ資料を配布し、オックスファムの活動へ今後参加していただけるよう促し、登録用紙など今後オックスファムからのお知らせを伝えられるよう連絡先を記入してもらえようお願いします。
- 全員で後片付けを行います。



オックスファムへの連絡先

ハンガーバンケットについてより詳しく知りたい場合は、以下の連絡先までお問い合わせください。

メールアドレス youth@oxfam.jp

住所

〒110-0005

東京都台東区上野 5-3-4 クリエイティブ One 秋葉原 7F

特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン

TEL: 03-3834-1556 FAX: 03-3834-1025

ウェブサイト <http://www.oxfam.jp>

アクションを起こす

世界の貧困を克服しようとする思いをさらに広めるために重要な活動です。ぜひ、ご協力をお願い致します。

- ① 25 ページにある「オックスファム・ハンガーバンケット報告用紙」(もしくは、ウェブフォーム: <http://goo.gl/FMGJAK>)へ必要事項を記入して、オックスファムまでお送りください。いただいた感想などは、オックスファムのウェブサイトなどでご紹介させていただく場合があります。
- ② 26 ページにある「登録用紙」を印刷して、イベント終了時に個人情報を集めましょう。いただいた連絡先には、オックスファム・ジャパンから今後のイベントやアクションに関する情報をメールマガジンにてお知らせします。
- ③ 食料問題の解決のために一人ひとりが行う3つのことを宣言するアクション、“3 things”への参加を呼びかけましょう。3 things については別紙「3 things 概要説明書」をご確認ください。

リソース

オックスファム・ハンガーバンケットを開催する際に有用なテンプレートを用意しています。必要に応じてご利用ください。

- ① **オックスファム・ハンガーバンケット 企画書**
ハンガーバンケットを企画する際に参考にしてください
- ② **オックスファム・ハンガーバンケット テーブル・ルール**
グループディスカッションの際に参加者同士の円滑な議論のためにご利用いただけます
- ③ **オックスファム・ハンガーバンケット 質問用紙**
ディスカッションを行う際の話し合うポイントとしてご利用ください
- ④ **オックスファム・ハンガーバンケット 参加者アンケート**
参加者の方に配布し、今後のイベントの向上にお役立てください

- ⑤ **オックスファム・ハンガーバンケット パワーポイントスライド**
ハンガーバンケット全体の円滑な進行にお使いいただけます
- ⑥ **プレスリリース テンプレート**
新聞などのメディアに配信する際にご利用ください
- ⑦ **ボランティア募集 テンプレート**
ハンガーバンケットへのボランティアを募集する際にお使いいただけます
- ⑧ **イベント広報文 テンプレート**
ハンガーバンケットの広報の際にご参考にさせていただきます
- ⑨ **3 things 概要説明書**
3 things 実施にあたり、その説明にご利用いただけます
- ⑩ **3 things 専用台紙**
3 things 実施の際にお使いいただけます

参考資料・ホームページ

- ・オックスファム・ジャパン (<http://www.oxfam.jp>)
- ・WFP 国連世界食糧計画 (<http://www.wfp.or.jp>)
- ・FAO 国際連合食糧農業機関 (<http://www.fao.or.jp/index.html>)
- ・UNDP 国連開発計画 (http://www.undp.or.jp/publications/pdf/millennium2010_11.pdf)
- ・厚生労働省 (<http://www.mhlw.go.jp>)



